






【教材・教具】ICT 活用

教科・領域	自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 等
名称	カメラ機能を使った個別学習での児童の活動記録
写真 使用方法	<p>① 個別学習での様子を各児童の一人一台端末 (iPad) の『カメラ』アプリで写真や動画を撮影する。 (例: スパイダーシステムやファシリテーションボールを用いた身体の活動)</p> <p>② 撮影した写真/動画を『写真』アプリで視聴する。</p> <p>③ 写真については、特記事項を編集メニューの『マークアップ』機能を使ってタッチペンで直接記入する。</p> <p>撮影した写真/動画をアセスメントや評価の材料として活用する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none">一人一台端末 (iPad)アプリ『カメラ』(標準アプリ)アプリ『写真』(標準アプリ)、編集メニュー (マークアップ機能 )スマートフォン用の簡易タッチペン (100 円ショップで購入。)
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">撮影した写真/動画は、指導計画作成のためのアセスメントや評価、記録として活用することができた。マークアップ機能で、気づきをすぐに画像に文字や矢印などで直接書き込むことができ大変便利だった。視覚的に活動を振り返ることができ、その場では気づかなかったことを後に発見することもできた。一人一台端末なので、当該の児童データのみを残せる点が大きなメリットである。次年度以降の引継ぎにも使用することができる。
保管場所 又は所有者	校内 (一人一台端末用充電保管庫)






【教材・教具】ICT 活用

教科・領域	せいかつ・自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	スイッチを押して写真を撮ろう
写真 使用方法	<p>学習例1：せいかつ：『春』を探そう</p> <ol style="list-style-type: none">① 各自が見つけて興味を持った花などを、一人一台端末 (iPad) の『カメラ』アプリを使用して撮影する。② 振り返りの時間に、各自の端末を電子黒板にミラーリングし、撮影した写真を写しながら報告することで、活動を共有する。 <p>学習例2：インカメラで自分の姿を写そう</p> <ol style="list-style-type: none">① 一人一台端末 (iPad) の『カメラ』アプリで、インカメラ (ディスプレイ側のカメラ) を使用する。② 鏡のように児童の顔・姿を映す。③ 撮影 (自撮り) して、鑑賞する。 <p>※ 画面の任意の部分 (シャッターボタン) をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせる。</p>  
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none">・ 一人一台端末 (iPad)・ アプリ『カメラ』 (標準アプリ)・ スイッチインターフェイス『i+Pad タッチャー』または『フックプラス』・ ビッグスイッチ 他、児童の実態に応じたタイプのアクセシビリティ・スイッチ <p>(参考) イヤホンジャックに接続するシャッターボタン (100円ショップで購入。) も使える。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">・ 児童から離れた場所に咲く花でも拡大して手元で提示できる。画面に映る花等によく注目することができていた。・ ケーブルをつなぐだけで電子黒板にすぐにミラーリングすることができた。・ インカメラを使った自撮りでは、児童の反応も良く、画面に映る自分に向かって呼び掛けるように声を出したり、頭を動かしながら見つめたりする様子が見られた。・ スイッチ操作と撮影の因果関係を理解できるようになるためには、他のスイッチ教材も活用しながら、中長期的な取組みが必要だと考える。
保管場所 又は所有者	校内 (一人一台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出口ッカー) シャッターボタン 私物 (100円ショップで購入可能)



【教材・教具】ICT 活用

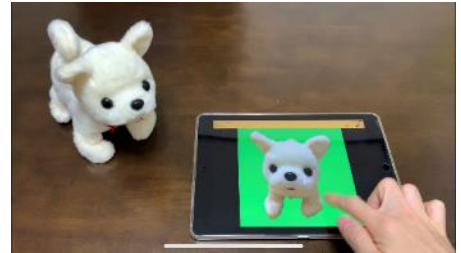
教科・領域	自立活動（個別学習）
名称	『画面に触れて楽しもう』～音・映像によるシンプルなタップゲームによる『因果関係の理解』を促す学習～
写真 使用方法	<p>【ポイント】 事前に『アクセスガイド』をオンにする</p> <p>① 初回設定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 「設定」 > 「アクセシビリティ」 > 「アクセスガイド」と選択してから、「アクセスガイド」をオンにする。 「アクセスガイドのパスコードを設定」をタップしてから、パスコードを入力する。 アクセスガイドのセッション中のショートカットをオンにする。 その他、任意で時間制限、画面の自動ロックを調整する。 <p>② 使用するアプリを起動する。</p> <p>③ ホームボタンを3回クリックし、『アクセスガイド』を選んでオンにする。（必要に応じて、タップ操作の無効画面の領域を設定する。）「開始」をタップ。</p> <p>これで、児童による操作中に『意図しないアプリの切り替わり』や『広告リンクを開く』ことを防ぐ。</p> <p>※ 画面の任意の部分をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末（iPad） 設定アプリ・アクセシビリティ機能「アクセスガイド」 アプリ『Fluid Simulation』、『i♥Fireworks Lite（花火）』、『ピアノあそび』、『キラキラお絵かき for iPad』、『Horns』等
使ってみて （効果・反省等）	<ul style="list-style-type: none"> 音や映像の変化に気づき、確かめるように何度も画面に触れる様子が見られた。特に『Fluid』では画面上に湧き出るように表示されるマール模様を見て夢中でタップしていた。 画面をなでるように手で触れると意図せずにアプリが切り替わってしまうことがある。『アクセスガイド』をオンにしておくことで、一つのアプリで集中して使用することができるので、必須の設定である。 視覚で対象をとらえることに困難がある児童については、スイッチとスイッチインターフェイスを併用し、スイッチ入力で音を楽しめるようにする。『i♥Fireworks Lite（花火）』は音に興味を持ち、何度もスイッチに手をのばして入力できた。
保管場所 又は所有者	校内（一人一台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出口ッカー）






【教材・教具】ICT 活用

教科・領域	自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	『写真をタップしてチワちゃんと遊ぼう』VOCA と電動玩具の組み合わせ教材
写真 使用方法	<p>① VOCA（音声出力コミュニケーション装置）アプリ『タッチ&びーぷ』で、子犬の玩具のシンボルを作成する。（音声には歌『おもちゃのチャチャ』のサビを使用。）</p> <p>② アプリ『タッチ&びーぷ』とスマート乾電池『MaBeee』を連携させて、シンボルの音声（歌）が再生中に子犬の玩具が動くようにする。</p> <p>③ 玩具の写真に触れると、玩具が動くという因果関係を意識しながら遊ぶ。</p> <p>※ 画面の任意の部分（シャッターボタン）をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせ使用。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none">一人一台端末（iPad）スマート乾電池『MaBeee』アプリ『タッチ&びーぷ』 （アプリ内設定で MaBeee と連携させる。再生中に玩具が作動するように設定する。）乾電池駆動の子犬（チワワ）の玩具スイッチインターフェイス『i+Pad タッチャー』ビッグスイッチ 他、児童の実態に応じたタイプのアクセシビリティ・スイッチ
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">どの児童も繰り返し取り組む中で、ディスプレイに映る子犬の写真に触れると、実物の玩具の子犬が動くという因果関係に気づき、操作して遊べるようになった。歌が再生されることに興味を持つ児童もいて、聞きながら確かめるように画面に触れていた。スイッチを操作することで玩具が動き、音声再生される VOCA と玩具の組み合わせ教材は、児童の主体性やコミュニケーションの意欲を伸ばすために有効な教材であると感じた。
保管場所 又は所有者	校内（一人一台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出口カー） 子犬（チワワ）玩具 私物



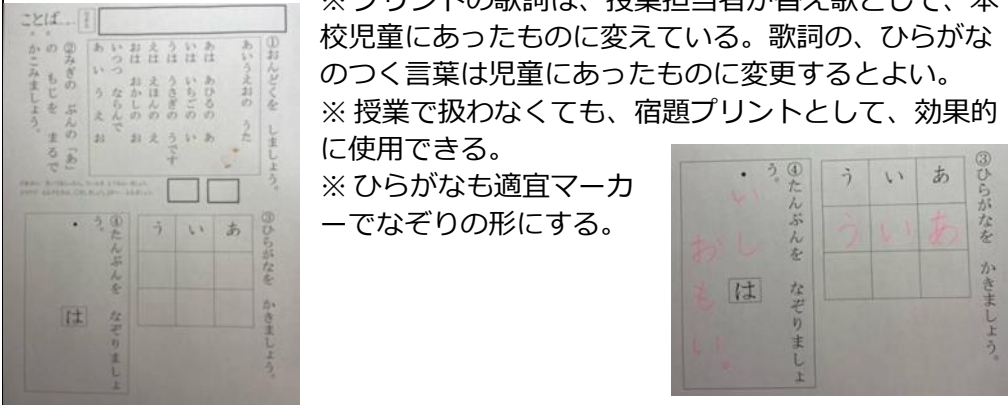


【教材・教具】ICT 活用

教科・領域	個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	先生と一緒に YouTube タイム
写真 使用方法	<ul style="list-style-type: none">YouTube 等のインターネット上の動画・音楽メディアを、指導者と一緒に鑑賞し、そこで生まれる反応や、それに対する言葉がけなどのやりとりにより、コミュニケーションの経験を重ねる。一つの画面を二人で見ることにより、自分と他者との『体験の共有』を感じられるようにする。 <p>【厳禁】必ず指導者が傍につき、端末を与えっぱなしにしないようにする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none">一人一台端末 (iPad)アプリ『YouTube キッズ』 子ども向けのコンテンツが豊富で、ユーザーインターフェイスも直感的でわかりやすい。動画サムネイルも大きくて見やすく、選びやすい。 <p>初期設定時に保護者の年齢認証が必要であり、担当教員が代行した。Google workspace でのログインは行わない。</p> 
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">初めはやみくもに画面に触れたり、端末を抱え込んだりしていたが、それでは動画を楽しめないということを経験的に理解し、指導者の言葉がけや働きかけを受け入れ、落ち着いて視聴できるようになってきた。興味あるシーンでは笑いながら指導者の顔を覗き込んで共感を求めたり、指導者の手を取って見たい動画のサムネイルに触れようとしたり、児童と端末と指導者の三項関係も見られるようになった。『スマホ子守り』に代表されるようなネガティブな印象のある YouTube 動画の視聴だが、与えっぱなしにすることが問題なのであり、指導者と一緒に鑑賞し、体験を共有することで、有意義なコミュニケーションツールとしても機能することが実感できた。
保管場所 又は所有者	校内 (一人一台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出口ッカー)

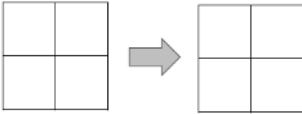
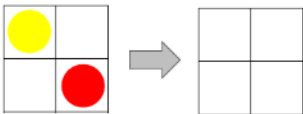
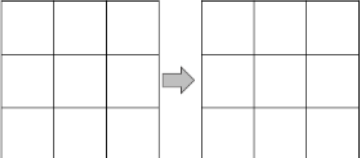
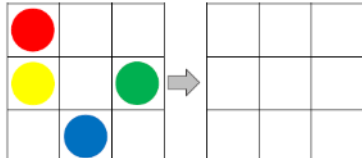


【教材・教具】国語

教科・領域	ことば（国語）
名称	ひらがな学習 「あいうえおの歌」宿題プリントひな型
写真 使用方法	<p>① 授業の中で、「あいうえおの歌」（宇野正寛作曲）を短時間取り扱う。簡単なメロディ、歌詞なので覚えやすい。</p> <p>② 宿題プリントとして定着を図る。</p> <p>※ プリントの歌詞は、授業担当者が替え歌として、本校児童にあったものに変えている。歌詞の、ひらがなのつく言葉は児童にあったものに変更するとよい。</p> <p>※ 授業で扱わなくても、宿題プリントとして、効果的に使用できる。</p> <p>※ ひらがなも適宜マーカーでなぞりの形にする。</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	<p>小学部 C低グループ</p> <p>① 国語 2段階の②グループ（いくつかのひらがなが読める）</p> <p>② 下学年対応 1年の国語のグループ（ひらがなは読めるが、書けない1年生）</p> <p>※ ひらがなの学習をしても、なかなか覚えられない児童。</p> <p>※ ひらがな学習開始後、間がない児童。</p>
素材・作り方	<p>A4用紙1枚（ワープロソフト）でひな形プリントを作り、ア行からラ行まで45種類展開した。各行5枚（短文作りはなぞり版と記入版を作り、全90種類作成した。なぞり版は、印刷後、教師がマーカーで手書きする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あいうえおの歌」の各行の音読の課題を入れる。 「ひらがなの書き」は、児童が、文字を書ける大きさの記入欄にする。（児童の段階によって、ひな型印刷後、マーカーでのなぞりにする。） 短文作りの課題も含め、ひらがな学習の見通しを持たせる。
使ってみて （効果・反省等）	<p>① 文章中で、見て分かるひらがなが、増えた。語彙が増えた。</p> <p>② 短文作りの中でひらがなを書く経験も無理なく増やせた。</p> <p>※ シンプルな作りであるので、苦手なひらがなが把握しやすく、繰り返し扱い、定着を計りやすい。</p>
保管場所 又は所有者	<ul style="list-style-type: none"> 中津支援学校 共有フォルダ 90種類 印刷済みプリント90枚、及び、短文マーカー記入プリント45枚




【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動（個別学習）
名称	ビジョントレーニング
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">月 日 名まえ：</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">おなじいろ おなじばしょに しーるを はりましょう。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">月 日 名まえ：</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">おなじいろ おなじばしょに しーるを はりましょう。</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 左側の見本部分にシールを貼っておく。 5～10 分程度取り組む（必要に応じた枚数を用意）。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3 年 C 低グループ
素材・作り方	プリントを印刷し、左側の見本部分にシールを貼る。 必要な分のシールを用意する。
使ってみて (効果・反省等)	<p>目的 ビジョントレーニングの中の視空間認知を高める課題を用意した。対象物の色や形や位置などを把握する力で、目から入った情報を脳で処理する力を高めることを目的とした。</p> <p>反省 取り組み始めは、左右逆になることもあったが、見本部分と見比べるように促し、回数を重ねるうちにできるようになった。 児童の実態に応じて、4マスから段階的に取り組んでいくのもよい。</p> <p>効果 ひらがなの形に注目するようになり、読めるひらがなが増えた。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 図画工作

教科・領域	図画工作
名称	マラカスをつくろう ～身近なものをつかって～ (全2回)
写真 使用方法	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none">切る、貼る、ちぎる等手先を使って活動する。材料の名称を知り、語彙数を増やす。指示を聞いて活動できる。色や柄等、自分のイメージするオリジナルマラカスを作ることができる。自分で作った楽器を使って演奏することができる。頑張ったところ、お気に入りのところ等、作ったところを思い出しながら話をすることができる。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年 C低グループ
素材・作り方	<p>素材 珊瑚・どんぐり・卵パック・割り箸・マスキングテープ・カラーテープ・シール油性ペン・ビニールテープ・セロハンテープ・はさみ・手順表</p> <p>作り方</p> <ol style="list-style-type: none">わりばしにまくテープをえらぶ。わりばしにテープをまく。わりばしをたまごパックにはる。★でっばているところにはる。なかに入れる「そざい」をえらぶ。★10こ「そざい」をいれて、セロハンテープでたまごパックをとじる。たまごパックのふちにはるテープをえらぶ。セロハンテープのうえからテープをはる
使ってみて (効果・反省等)	使用する素材の名前を聞くと、知らないものも多かった。何なのか、どう使うのか等動画や実践を基に伝えた。数種類あるテープから好きな色や柄を選び、飾り付けた。音楽が好きな児童が多く、自分で作った楽器で演奏することに期待感をもてた。完成後、1人ずつ前にでて、「やまのおんがくか」(一部替え歌)をピアノに合わせて演奏した。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】算数・自立活動

教科・領域	算数、自立活動
名称	算数「カードさがし」、自立活動「教室サーキット」
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>写真①</p></div><div style="text-align: center;"><p>写真②</p></div></div> <p>課題ができた際に、写真②のように、自分の写真カードの隣の枠に貼り付け、できたことを可視化する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年 C低グループ
素材・作り方	<ol style="list-style-type: none">① イラストをカラーコピーしラミネートする。② 裏面に磁石を貼り付ける。 <p>★写真①のように、児童の手指の操作性によって、厚みのある磁石を使うと操作がしやすい。</p>
使ってみて (効果・反省等)	できたことやあと何回するのかが見てわかるので、できた感や見通しをもって活動することができる。また、貼ることで活動の終わりとする事で、「終わり」がわかりやすかった。花丸が欲しいから頑張るといった意欲にも繋げることができた。「指示された枠に貼る」という課題を設定することもできる。児童によっては、簡単な活動の為、飽きて敢えて他の枠に貼ることもあった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動

教科・領域	集団自立活動
名称	手洗い名人になろう
写真 使用方法	<p>使用方法</p> <p>①手順表 これを見て手洗いを行う。覚えてきたら、忘れていたところだけ見せる、手順表なしで手洗いをする等段階的に取り組む。授業後は手洗い場に貼り、思い出せるようにする。</p> <p>②手形メダル 最初の授業で提示して意欲を高め、全授業の最後に渡し、達成感がもてるようにする。</p> <p>③手形、ばい菌カード 実際の菌は目に見えない為、説明をする際に使用。教室内のもの(ロッカー等)に貼り、触って手形に付けてイメージがもてるようにする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年 C低グループ
素材・作り方	<p>①～③全てワープロソフトで作成しカラー印刷をしてラミネートする。</p> <p>①手順表は、写真を添付し字を読むことが難しい児童も見てわかるようにした。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>全3回実施した。①いつ?なぜ?手を洗うのか、②手洗い動画(しまじろう・あわあわてあらい)、③手を洗おう(実技)、④きれいな手で食べよう、⑤メダル授与 の5つの内容に取り組んだ。ばい菌カードを用いることで、なぜ手を洗うのかを理解できた。手洗いの場面は児童同士で見合いができるように座席配置をした。メダルをもらったことで、「できた」を感じることができていた。また、ただ練習をするのではなく、手をきれいに洗った後にヨーグルトを食べ、満足感が得られるように工夫した。授業後、トイレに行った時等に口ずさんで手を洗ったり、歌詞の順番に手を洗ったり姿が見られた。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部





【教材・教具】 図画工作

教科・領域	図画工作
名称	新聞紙で遊ぼう ～宝探し～
写真 使用方法	<p>① 新聞紙を8分の1の大きさに切る。 ② 新聞紙の中に入れて丸める。ふたが入っていないものも作る。 ③ 宝探しをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ルール</div> <ul style="list-style-type: none">・ 時間内に何個見つけられるか・ 一番多く見つけた人の勝ち 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年 C低グループ
素材・作り方	<p>① イラストをカラーコピーして丸く切り、ラミネートする。 ② 両面テープを貼ってペットボトルのふたに貼り付ける。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">・ 新聞紙遊びにおいて、簡単なルールのある遊びができないかと考え、作成した。イラストは児童が興味のあるものを選んだ。また、新聞紙の中に入れて丸める活動を行うことで、手指の巧緻性を高めることもできた。何個見つけたかを数えることで、「数を数える」学習にも取り組むことができた。・ 口に入る大きさの為、誤飲をしないように注意する必要がある。・ この活動以外にも、同じマークを探す神経衰弱や、食べ物イラストを貼って名前当て、並べて遊ぶ等、いろいろな活用の仕方ができる。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動（個別学習：国語、算数）
名称	国語①「文字カードのマッチング」、算数②「絵カードのマッチング」
写真 使用方法	<p>【ねらい】</p> <p>① 文字の形の違いを見分け、マッチングさせる。 ※ 貼る際に指導者が文字を読み上げるが、対象児童には音声と文字のマッチングは求めない。 ※ 興味関心を持って取り組めるように、文字カードの上に好きな絵本に出てくるイラストを貼った。</p> <p>② 同じ絵柄のカードをマッチングさせる。</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 3年生 AB 中グループ
素材・作り方	<p>① イラストをカラーコピーし、裏に厚紙を貼る。 ② カードに磁石を貼り付ける。 ③ 灰色の画用紙でカードを貼る枠を作る。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> 今回の、ホワイトボードに貼る形のマッチング課題ができるようになるまでに、様々な方法でマッチング課題に取り組んできたが、（2種類の箱に手本となるカードを見て同じところに入れ分ける、絵カードの上に同じ絵カードを重ねる等）同じであることがわかっていても、その操作が難しかった。そこで、ホワイトボードに貼る形に変え、尚且つ、カードを貼る場所をわかりやすくするために、カードの下に灰色の画用紙を貼った。この工夫を行うだけで、スムーズに課題に取り組めるようになった。 ①では、文字の形の違いを見分けて貼ることができるようになった。好きな絵本に出てくるひらがなを題材にすることで、興味を持って取り組むことができた。 ②では、白黒の線図カードを混ぜた5種類程度の絵カードマッチングができるようになり、注視して見分ける力が高まってきた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部




【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	弁別課題
写真 使用方法	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none">目と手を協応させて色別に入れ分ける。指先の力をコントロールし、トングを操作する。同じ作業を繰り返し集中して行う。集中力を高める。 <p>[自立活動] 環境の把握：認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 3年生 AB 中グループ
素材・作り方	<ol style="list-style-type: none">① トング、デコレーションボール、容器、箱を準備する。② 箱に容器を貼り付ける。 <p>※ 容器と箱を固定することで、容器がずれることなく安定しやすい。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">最初は3色から始め、徐々に弁別する色を増やすようにした。トングは幼児用の小さいものを用意し、扱いやすいように配慮した。活動には関心を持って取り組むことができ、トングの操作もスムーズになった。最初は間違っって入れ分ける様子も見られたが、自分で気づいて再度入れ直したり、「よく見て」と声をかけたりすることで、集中を持続して取り組むことができるようになった。5色を弁別して入れ分ける際は、2回程入れ間違える時もあるが、8割程度正確に行えるようになった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動（みるきくつたえる）
名称	『おおきなかぶ』の「かぶを抜く土台」と「かぶ」
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 中グループ
素材・作り方	土台は、段ボールを組み立てて作成した。土なので、茶色の絵の具を塗る。大きさはそれを使用する子どもによる。 かぶは、小さいFBを伸縮性のある布で覆い緑のフェルトで葉をつけた。かぶ本体と葉が離れないようにしっかり留める。土台に開けた穴にピッタリ入るくらいにボールに空気を入れる。
使ってみて (効果・反省等)	本グループの児童には、重さや布の厚さなど引き抜くにはちょうど良いかぶであった。 また、穴から抜けそうで抜けない感じを味わうためにも、土台の深さも適当であった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 せいかつ

教科・領域	せいかつ
名称	『どうぶつ えんにち』の縁日での品物づくり
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 中グループ
素材・作り方	<p>パネルシアター『どうぶつえんにち』を作成し、そこで縁日ごっこの授業を行った。子どもたちが一部を作成し、その後こちらが完成させた。</p> <p>「りんごあめ」は、新聞紙を丸め、赤いセロファンで包むところまでを子どもたちが行った。</p> <p>「やきそば」では、茶色の毛糸を適当な長さに切っておき、プラスチックの容器に入れることを子どもたちが行った。</p> <p>「綿菓子」は、透明の包装紙に綿を入れ、割り箸をさしてこちらが作成した。ほかに、焼きとうもろこしを作成した。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>いろいろな素材の感触を楽しみながらの授業になった。</p> <p>また、完成したものを使って、お店屋さんごっこもできた。</p> <p>外出できない時期に合わせて、少しでも楽しく買い物ごっこができてよかった。</p>



【教材・教具】 図画工作

教科・領域	図画工作
名称	ローラー
写真 使用方法	   <p>握ることが難しい児童も肘からの動きや腕の動きだけでローラーを使用し、描くことができる。支柱のないローラーも握って前後に動かすことで、波線や格子状など様々な模様がつく。模様の違いも楽しむことができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 5, 6 年 AB 高グループ
素材・作り方	100 円均一ショップのローラーの先に、紐等を斜めや波状に巻き瞬間接着剤で接着する。 ローラーの持ち手部分に接着剤を付けた丸い木を差し込む。持ち手と反対側を削り、筒を半分に切ったものに付ける。筒にマジックテープや紐をつけることで、太さの調整ができるようにする。
使ってみて (効果・反省等)	普通のローラーを使う児童は、集中して色塗りを取り組むことができた。また、握ることが難しい児童、握ってもすぐ離してしまう児童にも、支えのついたローラーを使用することで、肘から下のみの動きで色塗りをすることができ、握る練習にもなった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 図画工作

教科・領域	図画工作
名称	ローラーの達人
写真 使用方法	 <p>手先のコントロールが難しい子どもが簡単な力で動かして描くことができる。また、ローラーを転がすとぼこぼこ、ガタガタなど様々な感触を手に感じながら楽しむことができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	手先のコントロールが難しい児童生徒
素材・作り方	<ul style="list-style-type: none">市販品のペンキ用のペイントローラーに市販品の手芸用の毛球や紐をグルーガンで付ける。巻き段ボールやエアパッキンをローラーに両面テープで貼る。
使ってみて (効果・反省等)	簡単に楽しく模様が描けるので、手先が器用な児童たちも大きな模造紙いっぱいに手を動かし、ローラーを転がして模様を描いていた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】国語

教科・領域	国語
名称	拗音カード
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 4, 5 年 C 高グループ
素材・作り方	薄いスポンジシートの裏にマグネットシートを貼り、イラストや文字を表側に貼る。スポンジシートで少し厚みを出すことで、麻痺のある児童でもカードの操作を行いやすくした。音の数を意識するため、拗音は一文字として一枚のカードに記入し、手拍子で音の数を確認し、その後カードの数と比べた。最初は音の数が少なく、身近なもので、長音や促音を含まない単語から練習を始め、慣れてきたらそれらを含む単語も扱った。
使ってみて (効果・反省等)	お茶のイラストでは、「お」「ちゃ」「ちゅ」「ちょ」とカードを渡し、正しいものを選び、イラストの下に並べるようにした。構音障害があるためか、聞いた音も正しく認識しづらい場合もあり、カードと音を照らして合わせてゆっくり取り組み、音の数を意識して小さく書くことに気づいたり、「や」「ゆ」「よ」の音の違いを意識できたりするようになった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	箱椅子、箱机
写真 使用方法	 <p>後方より支えられる箱椅子と、箱椅子に座りながら使用できる机</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 他
素材・作り方	12mm のコンパネで骨材をつくり、色画用紙、フィルムシールにて仕上げる。
使ってみて (効果・反省等)	机上にキーボードを置いて、指導者が後方より児童の手を持って演奏させてみる。(OT 的な指導) 後方からの支援・指導になるので、1人補助で後方から支えてもらえれば前方からの指導ができる。
保管場所 又は所有者	本校 小学部